

9 班

事業 「低出生体重児家庭訪問」

- ・計画通りか

対象 2000g 以下全員訪問－H14 年約 60 件うち 49 件訪問→80%

把握方法…届出ハガキ + 連絡ない者へ tel 72 件

手紙…他 tel

未訪問者 → tel 市町村と連絡

- ・トラブル － なし

- ・スタッフの反応 － 忙しい

- ・連携 … 良（医療機関）

市町村 助産師とは良

開業医と助産師との連携は不十分

- ・他事業 … 虐待予防事業との関連

- ・トラブル－母のニーズ（保健師に教えてもらいたい）

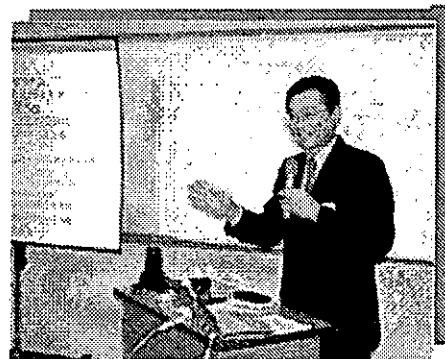
（問題点）とズレあったケースあり→ミニ講話（11 修正）

- ・スタッフ－気になる子と母が一致。

思った以上にせっぱつまった母が多かった。

転勤族が多く元々のグループに入れず悩んでいる人も多い

*時間の不足によりまして、おまとめいただけませんでしたグループの皆様にお詫び申し上げます。今後、お役に立つことがございましたら、ご連絡いただきたいと思います。と存じます。



7. 11:40～評価について (G8について全員で検討)

G8 ほっと・はーと・めいと クラブ

- ・ 虐待があつてからでは保健所も対応できないので、事業化したいときには1次予防、0次予防の虐待対策が大事。
- ・ 虐待をする危険性のある人は自分で分かっているのかもしれないので、その人たちに「何か」をして予防する。

Q. この事業は具体的にはどのようなことか？

A.

- ・ 1回目は自分の育児について、夫婦関係、環境など全てをテーマに話し合う。
- ・ 自分が今どのような状況に置かれていて、自分がどのように考えているかと言うことをおもてに出すため。

Q. それは何故？

A.

- ・ 人の話をきいて覚えることは色々な機会であるが、自分の意見・思いを吐き出して、人の話を聞いて、自分の心の中で整理することが大事なので。
- ・ グループの中に入った時、保健師も一母親となり、自分の子育てのことを話す。
- ・ 保健師が話すことによりお母さんたちも安心感になったと後で感想をもらった。
- ・ 目的は、自分の言葉に出してみても、人の話を聞いて、自分だけではないのだと整理してもらうこと。

- ・ 第1回目の目的は今の自分の置かれていることを表現して、共感できる相手を見つける。
- ・ 2番目の実現要因は、場を提供することにより、自分が置かれている状況が特殊でもなければ、自分だけではないのだということを意識してもらう。
- ・ 事業として評価は、目的が共感する相手を見つけてもらうことなので、母親の感想に「共感できた」と入ると、合格点となる。
- ・ 参加したが出来なかったという人にとっての評価は低くなるので、相対としての評価を出すことが出来る。
- ・ 出来なかった人は、どうしてそこで自分の思いを言えなかったのか？という理由を明らかにすれば、次への改善になる。

Q. 第2回目は、何？

A.

- ・ グループを始める前に、「ここで話すことは絶対に外には漏らさない」と約束をしてからテーマを決めてずっと話す。
- ・ 1つずつテーマを決めて話す。それを6回繰り返す。
- ・ 話し合いの中で保健師、心理士はアドバイスをしないことが前提なので、アドバイスはしない。良い悪いは言わない。

- ・ アドバイスをしないことに目的があると良い。
- ・ 共感する人がいて、自分のことを話せても、家に帰れば子どものことを叩いてしまうかもしれないように、共感できても問題が解決しないことがあるかもしれない。
- ・ 解決できない人には次のプログラムを用意しなくてはならない。
- ・ 一つの中で全部のことをする必要はない。
- ・ アドバイスを求める人は一段階が出来ていないから求めるのかもしれない。
- ・ 共感できることによってほとんどのことは解決するのだと思う。
- ・ このような事業は、やることによって虐待の防止になるのだという根拠がある。
- ・ さらに次へという人に次のプログラムを用意しなければならないということは、この事業を行った1つの成果である。この評価から次の新しい事業の資料になる。
- ・ 評価はアンケートなどにより数字に出る。数字が出ることにより、住民の行動まで早い段階で評価できるかもしれない。
- ・ 対象者、参加希望者が多い事業をもっと広げていかなければいけなくて、そのためには予算化する必要がある。
- ・ 何も知らない人に説明する方法は、標準的な同じレベルの話をする。その為には評価、目標を明確にして、どう達成できたかを話す。

総合評価

- ・ 最初の事業計画の際に何を目標にするか、何をねらいにするかということをはっきりとしないと、評価は難しい。
- ・ 計画 plan、実施 do、見直す see という流れを、最初に全部予定しておくことで評価出来る。
- ・ 総合評価はできるか？評価項目は全部そろっているか？ということは大変なことです。その次に評価項目の重みづけができる
- ・ 評価するのに重視すれば良いものは以下、1.実績そのものの評価、2.要因、3.住民の行動・環境を改善したか、4.健康指標 さてどれが一番大切でしたか？
- ・ 虐待防止予防の事業のように、事業をする時にねらいは当然あるはず。それを言葉にすることが大事。
- ・ 2.要因は、変えたいと思っていることが変わったかが第一の評価。その結果として、住民の行動が変わり、行政そのものの目標、改善が直接変わる。
- ・ 住民の行動や結果としての健康指標を改善するには、最初の要因に対するアプローチが成功したかどうか。上手くいかないものは問題があると考えたい。
- ・ 総合評価をやってみるが、出来ない人はなぜか？要因以降の評価は難しい、最初に設定がない、後から考えようとする為に資料がない、が挙げられる。
- ・ 色々なことには、短期、中期、長期の効果があるが、短期の効果は見せなければだめである。
- ・ 事業は「10年かけてここを目指す、1年でこれをやる」ということが大切。その上で、事業の優先順位を付ける。
- ・ 事業の優先順位を決めることにより、縮小する事業、辞める事業を決めることが出来る。

母子保健事業に限らず、行政の事業を評価結果により、中止することや再構築することは簡単なことではありません。しかし、効果のない事業を継続することによる資源の浪費を回避するために、常に事業の scrap and build が行われる必要があります。今回、愛知県の母子担当者による研修会はこの難題に正面から向き合った企画でした。企画された方々や参加者の皆様高い意識を強く感じ、それが、活発な研修会を作り上げたと思います。

scrap and build の基本は正しい事業評価にあります。その事業評価は計画段階での明確な目的と目標の設定にはじまり、実施の全過程においてなされるものです。事業終了時にはほぼ評価に必要な情報は得られ、それを吟味する段階に入ることができれば、効率的に評価を行うことができるでしょう。目的や目標値の設定、実施方法や評価方法を定める時に必要な情報を収集し、活用することが要求されます。その際に、健やか親子 21 のホームページに掲載しました「取り組みのデータベース」や「母子保健医療情報データベース」をご活用いただければ幸いです。

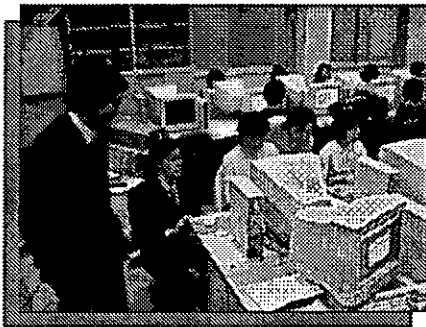
今回の研修会をきっかけに参加者の皆様が各自の次の一步を踏み出されることを祈念しています。

主任研究者 山縣然太郎

「健やか親子21」公式ホームページ「取り組みのデータベース」研修会



「健やか親子21」公式ホームページ
<http://rhino.yamanashi-med.ac.jp/sukoyaka/>



研修会にご参加された皆様へ

研修会へのご参加ありがとうございました。

その後、「健やか親子21」取り組みのデータベースはご活用いただいておりますでしょうか？

今後全国の保健師の皆様が有効利用できるものになって欲しいと願っております。

また、メーリングリストも是非ご活用ください。

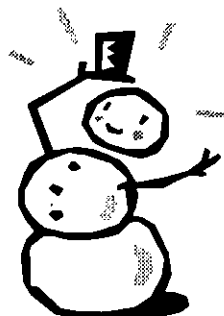
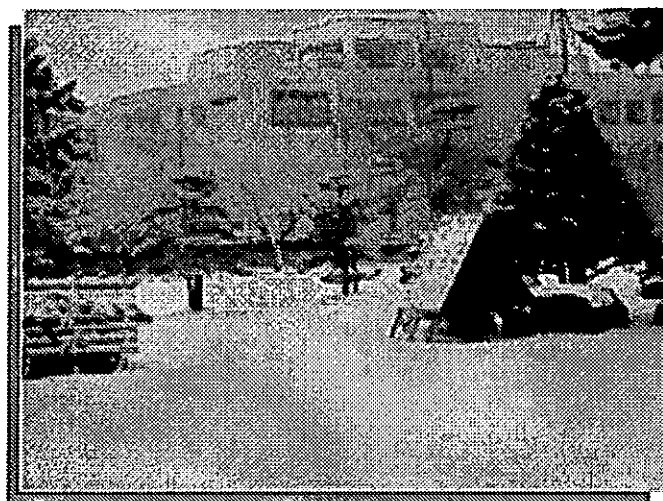
今後とも何卒よろしく願いいたします。

☆—————………研究班より☆—————………

青森県母子保健研修会

「性教育・地域と学校の連携を上手にはかろう」

— 報告書 —



1. 青森県 挨拶
2. 山縣挨拶 スタッフ紹介
研究班の紹介
本日の目的：(教授資料確認)
進め方：グループワークの約束事、ブレインストーミング

2003. 12.8(月) 青森県自治研修所

21世紀初頭の母子保健における国民健康づくりである「健やか親21」の推進には情報の利活用が重要な役割を果たすことになると思います。私たち研究班では、健やか親子21の公式ホームページを構築・運営しており、皆様に健やか親子21に関する種々の情報の橋渡しをしています。また、二つのデータベースを搭載しており、その一つの「取り組みのデータベース」は全国の市町村における健やか親子21の取り組みをデータベース化したものです。1200以上の市町村から3000以上の情報の提供をいただいて掲載しています。4つの課題、目的、ねらい、事業内容、住民の参画状況、目標値の設定、市町村の規模、出生数、保健師の数などいろいろな検索が可能です。母子保健事業の見直しや、再構築にきっと役立つと信じていますが、そのためには有益な情報が掲載されている必要があります。どのような情報が皆様の役に立つのかを、この研修でご理解いただけたのではないかと思います。利用価値の高いデータベースを皆様とともに作り上げていきたいと思っています。是非、積極的に情報の提供と、ご活用をお願いいたします。

また、本研修会のグループワークのテーマである「思春期の課題を地域と学校でどのように連携するか」について、その企画立案のための基本的な考え方の習得をしていただけたでしょうか。今回の研修会の成果として、一つでも二つでも皆様の地域の思春期の取り組みが、データベースに登録されますことを願っています。

山縣然太郎

<学習目標>

●一般目標

性教育について、地域と学校とが上手に連携をはかった事業が展開できるような知識と技能を身につける。

●行動目標

1. 性教育における目的・目標、指標について説明できる。
2. 性教育事業の評価について説明できる。
3. 性教育における学校と地域の連携のありかたが説明できる。
4. 性教育事業の企画・立案ができる。

<研修方法>

- ・講義、グループワーク（GW）、発表を1セットで行う。
- ・各グループで司会、記録、発表者を決定。各セットで役割分担を代える。
- ・発表時間は厳守し、短時間なので要点のみを簡潔に述べて、質問、追加で補足する。
- ・休憩時間は設けず、GWの時間に各自でとる。
- ・学生気分にもどって楽しく学習する。

10:00～青森県あいさつ

6. 10:05～主任研究者あいさつ（山縣）

講師紹介 松浦 近藤 山田 葉袋

進め方の説明：グループワークの約束事

10:15～ブレインストーミング

テーマ：青森県の十代中絶率：減少傾向、母親率：上昇⇒なぜか？（中心講師 松浦）

10:20～グループワーク

10:30～発表

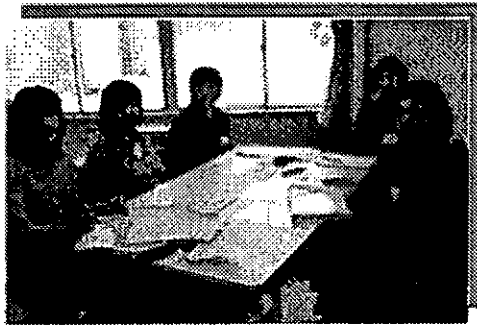
1 班：中野・熊木・田村・楠見・小野

- 就職していないから
- 命の大切さを知っている
- 芸能人がお手本・はやり
- 甘く考えている・認識の遅れがある
- 低年齢化



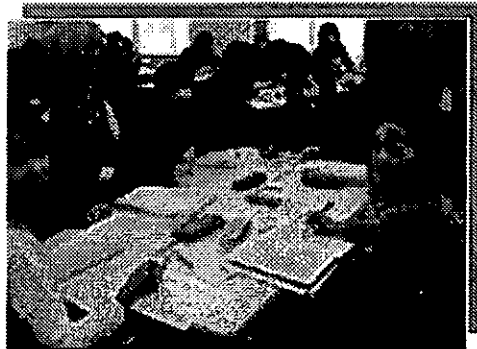
2 班：福嶋・佐々木・岡前・山内・平塚・辻

- ヤンママがステータス
- 将来設計ができない
- 相談者不在
- 罪悪感
- 親頼み
- 十代母親の許容
- 子どものかわいさ



3 班：桜田・佐藤美加・青木・佐藤未央・外崎

- 妊娠して嬉しい
- 十代の県内在住者が少ない
- 他同じ



4 班：山口・木下・伏見・今田・伊勢田

- 他班意見と同じ



10:40～松浦説明

- ・ ピル使用者が青森県で増えている。
- ・ 青森県の十代の出産率が上がっている

- ことも事実である。
- ・ 健やか親子 21 が成功しているのだろうか？

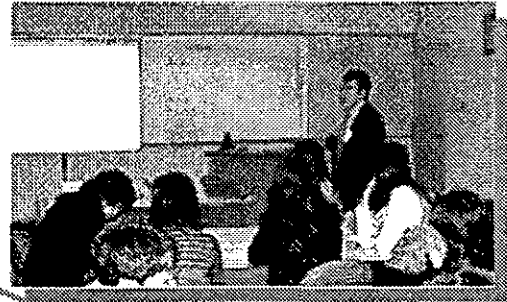
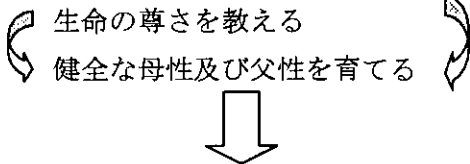
10:45～性教育の目的は何か？

- ・ 似たものどうしを島にする。
- ・ 発達段階を考えた順番があるか？
- ・ 性教育の場の特定があるか？

10:55～発表 OHP への書き込み



2班 (岡前)



人に対する思いやり

男女の思いやる心を育てる

- 身体のことを正しく知る
男女の違い
性感染症の知識
避妊の知識
望まない妊娠

3班(桜田)

家族の役割 学校・地域の役割 男女の違い 身体の清潔について

- ・ 生命の尊さを知る
- ・ 命の大切さを知る
- ・ 自分も大切な人間
- ・ 命について

- ・ 自分、相手を大切に思える
- ・ 自分、異性の身体と心を理解し、お互いを尊重する。
- ・ 異性への思いやりを育てる

正しい知識

- ・ 望まない妊娠
- ・ 性感染症
- ・ 避妊
- ・ 受精

4班 (伏見)

- ・ 正しい知識を知る
- ・ 性に関する正しい知識をもつ

- ・ 命の大切さを知る
- ・ 命の尊さを知る

- ・ 自己肯定感・自尊感情を高める

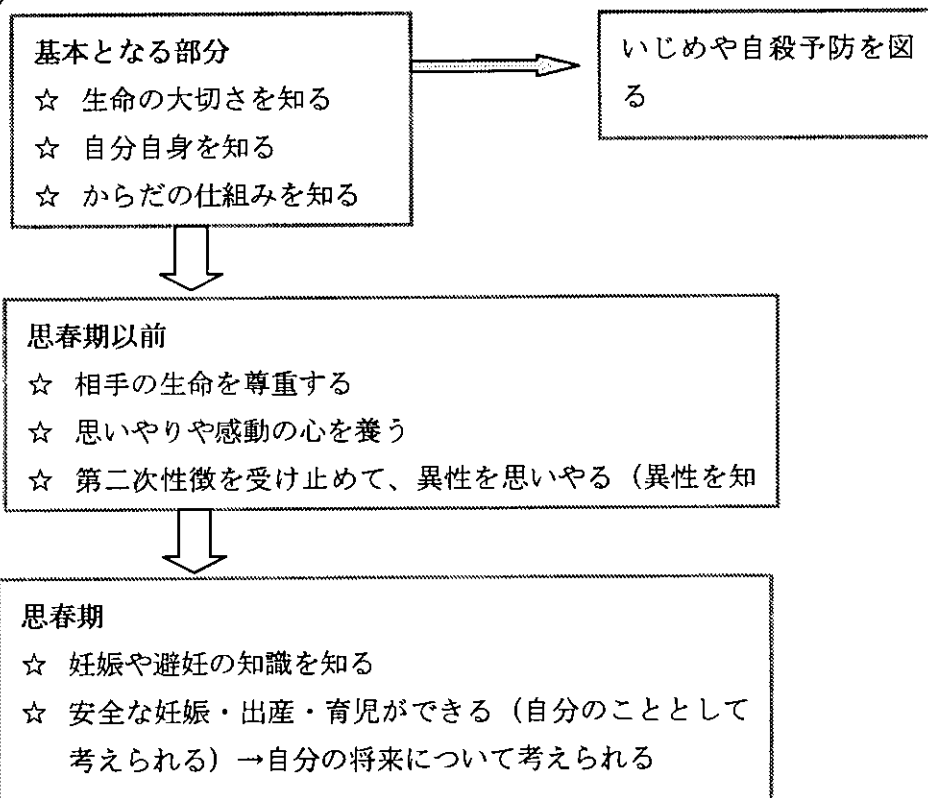
- ・ お互いを思いやる
→心を育てる
- ・ 自分を大切にする
→心を育てる



- ・ 自分らしい生き方を選択し
ていける能力を育てる

- ・ 将来親になったときの、子育て体験を学ぶ

1班 (熊本)



11:15～松浦説明

- ・ 性教育は2 + 1 種類ある
- ★ セクシャリティー教育
 - ・ セクシャリティー＝性と人格を結びつけた考え
 - ・ いのちの尊重、思いやり
 - ・ =道徳教育
- ★ 性行動を低リスクに誘導する教育
- ★ 性対策：生徒が保健室に月経が来ないと相談に来たとする。その後の対策。
 - セクシャリティー教育
 - ・ いのちを大切にしたい人間が形成される
 - 性行動を低リスクに誘導する教育
 - ・ 性行動が低リスクなものにする

板書

性教育の目的(2+1)

- ・ セクシュアリティ教育←15年前からやっている。
- ・ エジュケーション (セックス教育)←まだ実施されていない
- ・ 性対策

★ 性教育の長期目標・指標

前回のGWの内容のそれぞれについて、1年間で達成可能かどうか、という短期目標の視点で考え直してみる。5分くらいで。

長期目標は「命の大切さ」として考えてみる。

3班 青木：性知識をつける

4班 今田：体のことが理解できる、避妊法が理解できる。自殺割合低下（短期では難しいか？）

1班 小野：自己肯定間をもてるか（アンケートで確認）

2班 案なし。

OHPを供覧し、考察。「将来像を描いているかどうか」はいけそう（計画）。また「身体の清潔」「役割」この辺は、聞き取りで評価できそう。

【短期目標まとめ】

性知識・自己肯定感・計画性・清潔行動・役割感

これらはアンケートなどで評価できそう。

松浦：指標としては、どのようなものが浮かびますか。

・長期目標に対して：自殺率、いじめ率、中絶選択率、虐待、DV、出生率

松浦：「出所率？刑務所から出てくる・・・」「いえいえ、出生率です」(笑)

→これらは単純ではない。中絶選択が減ることと、虐待の増加は関係する可能性がある。

→これらは健やか親子21の指標と重なる部分が多いことが分かる。SK21は5年計画である。

・短期目標に対して：アンケート、作文、発表会

質問：(2班福嶋)セックスエデュケーションについて、日本の流れについてお聞きしたい。

松浦：午後話します。学校の先生には持っていないノウハウがある。その辺でどうやって連携しているかについて午後考えてみましょう。

ー昼食タイムー

午後

13:00～

松浦：大切なことが何か抜けていないか。それは、環境。

山縣：連携していくには、相手の考え方、を知らないとわからない。午前中はその辺が少しわかったと思う。午後は、それを踏まえて具体的にどうやって連携していったら良いか考えましょう。

○ 環境を忘れていませんか？

- ・ 情報/インターネット、AV、コンビニ、等
- ・ 地域、家庭/メッセージがあるから
- ・ 親、大人/互いに尊重しているか、仲が悪くないか

○ 性行動変容教育の歴史とエビデンス

- ・ 正しい知識を教えることは成功したか？
- ・ 自己決定能力をつける教育は成功したか？

- ・ 禁欲教育は成功したか？

○ エビデンスに基づいた短期目標

- ・ 禁欲メッセージ先行型 避妊・ST教育 abstinence-plus education
- ・ 家庭教師型教育 comprehensive health care
- ・ サービス・ラーニング・プログラム（地域ボランティア） service learning program
- ・ 親子コミュニケーション
 - よく会話があること
 - 性についての会話を意図的に回避すること

○ 学校は特殊な場だろうか。

- ・ 担任制が基本・・・クラス単位や学年単位の性教育をする傾向にある。
- ・ 専門教育を受けていない・・・性教育の流行に左右されやすい。
- ・ マニュアルや教材があれば教えるのは得意・・・教材を東西に求める傾向あり。

○ 学校という場の特徴

- ・ 教育委員会という独立色の強い組織によってコントロールされている。
- ・ 本来、教育委員会をコントロールするのは地域住民（PTA だけではない）である。
- ・ 地域の人々が教育委員会をコントロールすることによって学校教育をコントロール。
- ・ 地域の性教育と学校の性教育の連携が必要というよりは、学校の性教育が地域の性教育になっていなければならない（米国にみられるように）。
- ・ 保健師のみなさんは、同じ市町村の行政職としての教育委員会との連携、そして地域住民としての教育委員会への積極的にかかわりという2つの使命を負っているのです。

五戸町（中野温子）		事業のテーマ		思春期保健・福祉体験学習事業	
対象者／対象者数		小学校5年生		実施期間・回数	
				2校で実施、年4回開催	
テーマの目的(短期目標)		○清潔行動がとれる		○自己肯定感	
長期目標		命の大切さを知る			
事業内容・方法				事業内容・方法を実施する際の障害	
短期目標が達成されたかをみる指標		清潔行動がとれる人の率			
長期目標が達成されたかをみる指標					
従事者(職種)		保健師		予算・根拠・法令など	

地域の保健師さんたちが、なるべく年少の学童・生徒にかかわっていくという方向性はとても大切だと思います。学校への出前は、事前事後の打ち合わせや子どもたち対象の学習などが必要となり、顔と顔がみえる連携を生むと思います（おすすめです）。ちなみに、小学校5年生に求める「清潔行動」とはどのようなものでしょうか。ほけんの教科書で教えらるべき清潔行動をおさえておくことと、実際の子どもたちの清潔行動問題をおさえておくことにより、有効なかかわりができると思います。自己肯定感については、尺度がありますので、山縣班までお問合せください。がんばってください。松浦

弘前市(佐々木真知子)		事業のテーマ		ふれあい教室	
対象者/対象者数		市内の中学生約150人		実施期間・回数	
				5・6月と11・12月 4回/年	
テーマの目的 (短期目標)		・乳幼児にふれあうことが少なくなった中学生に、幼児とふれあう機会を作る。 ・親が子どもを大切に育てている姿を見る→自己肯定感			
長期目標		健全な父性・母性を育てるとともに生命の尊さを感じとる			
事業内容・方法			事業内容・方法を実施する際の障害		
一歳六ヶ月健診の場で ・1歳児とのふれあい体験 ・妊婦体験 ・離乳食体験(簡単な調理と試食)					
短期目標が達成 されたかをみる指標		①教室前後のアンケート ②赤ちゃんに対する具体的なイメージができる ③親に対するイメージ ④妊婦への理解 ⑤参加数			
長期目標が達成されたかをみる指標			10代の人工妊娠中絶実施率の減少		
従事者(職種)		保健師・助産師・栄養士		予算・根拠・法令など	

ふれあい体験事業は数値にならないとはいえ、子どもたちにもお母さんたちにもいろいろなものを残してくれるようです。全国でよく行なわれている理由がそこにあると思います。ですが、数値評価もできればしておいたほうがよい、そのような講義をいたしました。自己肯定感という評価指標があがっていますが、とてもよいと思います。ただ、中学生くらいになると、自己肯定感というのは低下傾向にあるということをお頭においてください。ですので、自己肯定感得点が容易に上昇しない可能性もあります。尺度についてはお問合せください。がんばってください。松浦

弘前市(佐藤美加)		事業のテーマ		赤ちゃんふれあい教室	
対象者/対象者数		中学生		実施期間・回数	
				年4回	
テーマの目的(短期目標)		赤ちゃんとのふれあい機会をつくる。			
長期目標		健全な父性、母性意識を育てる。生命の尊さを知る。			
事業内容・方法			事業内容・方法を実施する際の障害		
赤ちゃんとのふれあい、妊婦体験、離乳食試食			学校との密な連携が不可欠		
短期目標が達成されたかをみる指標		アンケート調査(教室の前後)			
長期目標が達成されたかをみる指標		出生率、虐待率			
従事者(職種)		保健師、助産師、栄養士		予算・根拠・法令など	

人気のふれあい体験です。学校との連携の機会がたくさんある事業ですね。おすすめです。この計画書ですが、短期目標がもう少し違いかたちで書かれるとよいかもかもしれません。中学生たちが赤ちゃんとのふれあい機会をつくる、というだけではなくて、ふれあったことにより、中学生にどのような変化を生じさせたいのか、そのようなことを考えてみるとよいと思います。そうすると、そこに評価ができる具体的な目標が書かれ、対応するかたちで、指標も書き込むことができるでしょう。弘前は思春期保健に力をいれていると、福岡県医師会の会合でお伺いしました。みなさんの意識が成果をうんでいるのです。がんばってください。松浦

平内町 (木下加奈子)		事業のテーマ		思春期教室	
対象者/対象者数		中学生・保護者		実施期間・回数	
テーマの目的(短期目標)		・思春期の心とからだの発達についての正しい知識を知る			
長期目標		・生命の尊さについて理解する			
事業内容・方法			事業内容・方法を実施する際の障害		
・講演(産婦人科の医師) ・事前、事後のアンケート			・性教育に関する学校関係者の考え方 ・予算の確保 ・講師の選定		
短期目標が達成されたかをみる指標		アンケートにより2次性徴に関する正しい知識を得た人の割合			
長期目標が達成されたかをみる指標					
従事者(職種)		保健師、医師、教師		予算・根拠・法令など	

この計画は、出前講義形式のものですね。事前事後と学校側、あるいは生徒側とかかわることができますので、連携をつくるにはとてもよいと思います。学校は多くの場合、待っていますので、保健師さんの側から積極的に、こうしましょうか、ああしましょうかと言ってみてください。内容ですが、中学生と保護者が対象のようです。短期目標をみる指標として、2次性徴の理解が書かれていますが、中学生では少し遅いような気がしますでしょうか？小学校中学年くらいでもよいと思います。小学校と中学校のほけんの教科書を一度みてみて検討してください。がんばってください。松浦

土和田市 (桜田由紀子)		事業のテーマ		思春期教室 赤ちゃんふれあい体験学習	
対象者/対象者数		中学3年生		実施期間・回数	
テーマの目的(短期目標)		・乳幼児を抱いたり、遊ばせたり、かわいいと思える ・赤ちゃんの味覚を知る ・自分が育ってきた成長過程を知る ・喫煙が母体に及ぼす影響を知る			
長期目標		命の尊さを学ぶ			
事業内容・方法			事業内容・方法を実施する際の障害		
・赤ちゃんの抱っこ体験 ・離乳食体験 ・妊婦体験 ・喫煙時			学校で継続していけるよう打ち合わせを多くする—学校との連携		
短期目標が達成されたかをみる指標		アンケート、感想文集(事前・事後)			
長期目標が達成されたかをみる指標		・出生率 ・10代の中絶率 ・喫煙者数 ・第1子出産年齢 ・初性交年齢			
従事者(職種)		保健師、栄養士、教師		予算・根拠・法令など 一般財源	

ふれあい体験事業は全国でも大人気です。赤ちゃんをつれてくるおかあさんにも好評だからだと思えます。さて、短期目標に4つの目標が書かれています。とても意欲的でよいと思いますが、事業の目的を明確にするためには、少し絞っても良いかもしれません。自分が育ってきた成長過程を知るといのは、少しばかりおおがかりな目標のような気がします。かわいいと思えるだけでも意義があると思えますよ。がんばってください。松浦

小泊村 (熊木香織)		事業のテーマ	思春期体験学習 園児とのふれあいセミナー	
対象者/対象者数	中学校3年生 50名	実施期間・回数	年1回 7月	
テーマの目的 (短期目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠、出産、避妊についての知識をもつ ・母性、父性の意識を認識する機会とする 			
長期目標	・生命誕生の尊さを知る			
事業内容・方法			事業内容・方法を実施する際の障害	
<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習(助産師による思春期健康教室) ・体験学習 ・保育園児とのふれあい体験(ゲーム、遊び) 				
短期目標が達成されたかをみる指標	実施前・実施後のアンケート、中学生の感想			
長期目標が達成されたかをみる指標				
従事者(職種)	保健師、助産師、保育士、教員、養護教諭	予算・根拠・法令など		

ふれあい事業ですね。ゲームや遊びが盛り上がると思います。評価ですが、これは助産師による講義の理解度をみるようなものが多いのでしょうか。妊娠や出産、避妊についての知識を持つとありますが、知識をもったかどうかは、テスト形式にならざるをえないので、やわらかく聞くとよいと思います。あと、母性父性の意識を認識する機会とありますが、短期目標としてはおおきすぎる気がします。がんばってください。松浦

青森保健所 (福岡真樹)		事業のテーマ	思春期保健関係者連携強化会議	
対象者/対象者数	学校、市町村、他関係者	実施期間・回数	年1~2回	
テーマの目的(短期目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者がそれぞれの役割を認識できる ・その役割を実施できる 			
長期目標	・思春期保健の推進			
事業内容・方法			事業内容・方法を実施する際の障害	
<ul style="list-style-type: none"> ○思春期保健関係者の連携をスムーズに進める ○関係者間の協議の場とする ・方向性、地域の目標決定 ・課題の共有 ・課題実施のための方法を決定 			エビデンスに対する理解が不十分なことから、とりくみに消極的になること。	
短期目標が達成されたかをみる指標			人数、参集範囲、内容、課題の進捗	
長期目標が達成されたかをみる指標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア参加者が増える(思春期) ・禁欲メッセージ先行型、避妊、STD教育の学校が増える ・親子コミュニケーションが(よい方向づけのできる)家庭が増える 			
従事者(職種)		予算・根拠・法令など		

連携の会議は、最初はみんな黙ってしまうような雰囲気でも、回を重ねるごとに、色がついていくと思います。その変化を楽しんでください。計画書には、連携としてどのような方々をお呼びするのも書いておくイメージしやすくよいと思います。年に1~2回といわず、もっと開催するとよいと思いますよ。がんばってください。松浦

八戸保健所 (岡前壽子)		事業のテーマ		思春期教室、出前講座	
対象者/対象者数		PTA(児童、生徒)		実施期間・回数	
				2回(夏・冬休暇前)	
テーマの目的(短期目標)		地域で子育て環境づくりをする			
長期目標		地域内でのボランティア組織に一人一人加入			
事業内容・方法			事業内容・方法を実施する際の障害		
○異世代交流 ・昔の生活用具(衣類、台所、情報) ・お寺、屋号の確認 ○子どもマップ作成 ○「こもり唄、赤ちゃんのあやし方を知ろう」			地域全体のレベルアップについて、 関係機関との認識を共有する		
短期目標が達成されたかをみる指標		・子育てボランティア数(事業開始前、開始後) ・育児支援の部分で虐待、DV 数			
長期目標が達成されたかをみる指標		10年後に向けて乳児死亡の減少、死産の減少、健康寿命をのばす			
従事者(職種)		予算・根拠・法令など			
対象のところですが、児童・生徒のPTAという意味でしょうか、子どもにも保護者にも両方参加していただくという意味でしょうか。少しわかりにくい表現でした。短期目標をはかる指標ですが、虐待やDVの数というのは、把握して変化を評価するのは少々難しいかもしれません。ボランティア数とありますが、これほどのような方法でボランティアを増やす戦略なので、どうか書いてあるとおりとお願いいたします。松浦					

八戸保健所(青木範子)		事業のテーマ		思春期健康教室 パパ・ママ体験学習	
対象者/対象者数		中学校3年生		実施期間・回数	
				1年間 年2回	
テーマの目的(短期目標)		○自分も愛され、大切に育てられた命であることを学び、自尊感情を持つ。 ○異性に対する理解を深め、男女が協力する必要性を学ぶ ○育児には責任が伴うことを学び、中学生にはふさわしい男女交際			
長期目標		○生命の尊さを学び、健全な父性・母性を育む			
事業内容・方法			事業内容・方法を実施する際の障害		
○妊娠シミュレーターを用いた妊婦体験 ○沐浴人形を用いた赤ちゃん抱っこ体験、育児体験 ○保護者からのメッセージを読む ○感想を書く			○協力校の選定 ○必要物品の準備 ○保護者からのメッセージの準備		
短期目標が達成されたかをみる指標		事前アンケート、事後アンケート、感想文、保護者へのメッセージ			
長期目標が達成されたかをみる指標		人工妊娠中絶率の低下、10代の妊娠率の低下			
従事者(職種)		保健師、助産師、養護教諭、教諭		予算・根拠・法令など	
短期目標に少々おおきなものが入っているような気がします。中学生にふさわしい男女交際というところとかです。自分も愛され大切に育てられたとありますが、いま大阪などでは、うまくいっていない家庭の子どもが多く、このような授業がとてもしんどいといわれています。工夫する必要が将来出てくるかもしれません。がんばってください。松浦					

東通村(伊勢田昌代)		事業のテーマ		赤ちゃんふれあい体験教室	
対象者/対象者数		小学生とその保護者		実施期間・回数	
				年1回	
テーマの目的 (短期目標)		・家族の一員として、望まれ、愛されて生まれてきたことを実感する。 ・友達同士でお互いが大切な存在であると分かる			
長期目標		命の大切さを知る			
事業内容・方法			事業内容・方法を実施する際の障害		
○事前に児童一人一人が、親から自分の生まれたときをインタビューする ○妊娠中の胎児の成長 ○乳児の成長、発達について ○協力する母子とのふれあい(赤ちゃんをあやす、遊ぶ、母親から話を聞くなど)			○児童がまとめる際、学校や保護者の協力 ○協力する母子を募ることが難しい		
短期目標が達成されたかをみる指標			感想文、保護者と検討		
長期目標が達成されたかをみる指標					
従事者(職種)		保健師		予算・根拠・法令など	
ふれあい体験教室は、子どもたちも感激することが多いようです。望まれ、愛されて生まれてきたとありますが、そうでない家庭の子どもがいる場合には工夫が必要になると思います。都会では現実的にそのような授業展開はできなくなっているようです。事業内容に、友達同士についてのセッションが書かれているとよりよいと思います。松浦					

板柳町(楠見尚美)		事業のテーマ		赤ちゃんふれあい体験学習	
対象者/対象者数		町内 小学校6年生		実施期間・回数	
				年2回	
テーマの目的 (短期目標)		○育児の大変さ、喜びを知る ○自分を大切に思える ○赤ちゃんをかわいいと思える			
長期目標		命の大切さを知る			
事業内容・方法			事業内容・方法を実施する際の障害		
○事前学習 ○乳児健診の場を利用し、ふれあい体験 (グループに分かれてふれあい、オムツ替えや着替えの手伝い、計測、診察の見学、離乳食の試食を体験)			○担任教諭の性教育レベル ○事業の準備、集録集の作成などに時間がかかる ○乳児健診の場を利用しているので、流れが悪くならないようにする		
短期目標が達成されたかをみる指標		実施後のアンケートより自己肯定感、感想文、協力してくれた乳児の母のアンケート(=ふれあい体験の必要性について)			
長期目標が達成されたかをみる指標					
従事者(職種)		保健師、養教、教員、医師、事務担当		予算・根拠・法令など	
育児の大変さや喜びを知るところですが、短期目標としては少しおおきい気がします。自分を大切に思えるというの、少し大きい気がします。他の授業と連携して長い目で養っていく考えのような気がします。赤ちゃんをかわいいと思えるという1点だけでもよいと思いますよ。子どもたちの家の近くの赤ちゃんをわりあてるとかの工夫があれば、学習後も地域であいさつなどの芽がでてくるのではないのでしょうか。松浦					

中里町 (伏見睦代)		事業のテーマ		思春期健康教育	
対象者/対象者数		中学2年生 120人		実施期間・回数	
				H15.12.20 1回	
テーマの目的 (短期目標)		<ul style="list-style-type: none"> ・自分は大切に育てられてきたことが分かる ・性に関する正しい知識をもつ 			
長期目標		<ul style="list-style-type: none"> ・命を大切にする心を育む 自分を、他者を、親を、兄弟を、将来結婚したときの配偶者を、子どもを。			
事業内容・方法				事業内容・方法を実施する際の障害	
<ul style="list-style-type: none"> ○健康教育(医師、助産師、保健師等を活用) ○自分が生まれてきたときを振り返る (親に聞いてみたり、母子手帳活用) 					
短期目標が達成されたかをみる指標		<ul style="list-style-type: none"> ○作文、アンケート、インタビューで評価(実施前後で) ○知識を正しく持てたかどうかの確認 ○初回性行為年齢の上昇、性感染症罹患率の低下 			
長期目標が達成されたかをみる指標		<ul style="list-style-type: none"> ○親子のコミュニケーションがもてる割合が上昇 ○自分は自分なりに豊かな(幸せな)人生を送っていると思う人の割合が上昇 ○のぞまない妊娠、出産の数が減少 			
従事者(職種)		保健師、助産師、医師、学校関係者		予算・根拠・法令など	

初回性行為年齢の上昇、性感染症罹患率の低下とありますが、短期目標としては少しきびしいかなと思います。大切に育てられてきたということがあてはまらない家庭の子どもがいる場合には工夫が必要だと思います。性に関する正しい知識とありますが、どのような知識のことかを例示しておくとういと思います。性知識に関しては、発達段階をおって教えることになっています。あと、保護者の同意が得られる内容でないといけません。どのような知識がいつころ教えられるようになっているのか、学校のほけんなどの教科書をもてみるのもよいと思いますよ。そして保護者がどのようなことを望んでいるのかも今後把握するようにしていってください。そのあたりのことを外部講師の先生がたとよく事前に調整しておくことが大切だと思いました。がんばってください。松浦

むつ市 (辻郁子)		事業のテーマ		総合的学習の時間を使って、福祉部門を選択した生徒が沐浴体験他	
対象者/対象者数		高校1年生 25人		実施期間・回数	
				1回	
テーマの目的 (短期目標)		自分の将来について描くことができる (父として、母としての役割など)			
長期目標		生命の大切さを知る			
事業内容・方法				事業内容・方法を実施する際の障害	
<講話> <ul style="list-style-type: none"> ○妊娠中の身体の変化、心の変化 ○夫、家族としての心くばり ○日常生活の注意(タバコ、酒、薬物) <体験> <ul style="list-style-type: none"> ○妊娠シミュレーター(妊婦体験) ○沐浴 				総合的学習時間の一環として実施されるため、事前に“家族”を築くこと(赤ちゃんを迎えること)などについて、どこまで生徒に話されているのか確認が必要	

短期目標が達成されたかをみる指標	事前のアンケート、事後のアンケートや作文など (特に妊娠、出産、育児についてイメージできているか)		
長期目標が達成されたかをみる指標			
従事者(職種)		予算・根拠・法令など	

短期目標がユニークでよいと思います。いまの高校生は、自分の将来をどのように描いているのでしょうか。とても興味あります。描いていない子もたくさんいると思います。事前に、どのように将来をえがいているかをまずは把握することが大切だと思います。そして、事後、同じように把握してみれば、どのような将来計画の変化があったのかをみることができるのではないのでしょうか。あと、教師たちにも、子どもたちの将来をどのように描いているのか聞いてみるとよいでしょう。そのあたりが連携をむすんでいくさいに、話題がはずむところかもしれませんよ。がんばってください。松浦

むつ市 (外崎美佳子)	事業のテーマ	思春期教室	
対象者/対象者数	高校2年生	実施期間・回数	年1回
テーマの目的 (短期目標)	○性知識の習得できる(避妊、性感染症) ○育児の現状を知る ○妊娠、出産について知ることができる		
長期目標	人工妊娠中絶率の低下、10代での出生率の低下		
事業内容・方法		事業内容・方法を実施する際の障害	
講話(妊娠・出産について、性感染症について、 育児の現状について、避妊について)		学校側との目標調整	
短期目標が達成されたかをみる指標	生徒に対する事後アンケート		
長期目標が達成されたかをみる指標	人工妊娠中絶率の低下、若年での出産率の低下		
従事者(職種)	PHN、養護教諭	予算・根拠・法令など	

正統派といいますか、伝統的な出前性教育のスタイルです。とても大切だと思います。高校ですと、養護教諭も教師もあるていど覚悟している部分があります。。覚悟といいますのは、性についてかなり突っ込んだ話をしなくてはいけないんじゃないかということです。ですので、事前の連携のなかで、知識だけではなくて、行動についても差し支えない範囲で高校生の実態を把握して、事前と事後(少しあとがよい)に変化を評価できるような話がつくと大成功だと思います。あと、性感染症ですが、グロテスクなスライドを見せたりすることがあると思いますが、それは見ても見なくてもよい工夫をするといえでしょう。すべての高校生に見せるのは問題があるかもしれません。いわゆる脅し教育の強いものになりますので。がんばってください。松浦

市浦村(田村優美子)		事業のテーマ		母と子のふれあいセミナー	
対象者/対象者数		中学校3年生	実施期間・回数	7月上旬 2回(事前1回、体験1回)	
テーマの目的 (短期目標)		○自分の生まれた頃の様子を知ることができる。 ○妊娠・出産のしくみについて知ることができる。 ○自分や友人、親を大切に思うことができる。 ○赤ちゃんをかわいいと思える。			
長期目標		生命の尊さ、健全な父性及び母性の意識を育成する			
事業内容・方法			事業内容・方法を実施する際の障害		
<事前学習> ○養護教諭による妊娠、出産についての講話 ○保健師による乳児の成長、発達段階の講話 <体験学習> ○乳児検診の中で中学生と赤ちゃん、その親が ふれあい体験をする ・おもつ交換、衣服の着脱 ・診察、計測の見学			出生率の低下で乳児がいない。		
短期目標が達成 されたかをみる指標		○両親から子どもが生まれた時の様子を聞き、誕生記としてまとめる ○中学生の事前・事後アンケート			
長期目標が達成 されたかをみる指標		対象者が親になったときに、役に立ったかどうかアンケートを実施する (今は未実施)			
従事者(職種)		保健師、養護教諭、教諭、 子育てメイト、教育委員会		予算・根拠・法令など	予算:村単独

出生率の低下で乳児がいない、、、と書かれていますが、深刻な問題ですね。短期目標ですが、自分や友人、親を大切に思うことができるとあります。これは少しおおい目標ですので、長期にわたるほうがよいかもしれませんよ。妊娠出産については、中学生までにどのように学んでいるのか、ほけんの教科書で一度チェックしておくといいですよ。自分の生まれたころの様子について聞くことができない家庭が少しずつ増えているようです。市浦でも工夫が必要になるかもしれません。がんばってください。松浦

黒石市(今田紀子)		事業のテーマ		思春期健康教室(現行でやっている)	
対象者/対象者数		150人	実施期間・回数	150人を半分に分け、2h×2回	
テーマの目的 (短期目標)		○赤ちゃんの身体の特徴を通して、人の身体のしくみを学ぶ ○男女に関係なく、子育てに参加する意識をもつ			
長期目標		将来の家庭づくり設計、育児意識の高揚			
事業内容・方法			事業内容・方法を実施する際の障害		
○子育て体験学習 (赤ちゃんの世話の仕方、抱き方、新生児の特徴) ○妊婦体験 ○人形、妊娠シミュレーター使用 *事前に家庭科の授業で学習し、実習にのぞむ。			一度に集まる生徒の数が多く、集中できない。		

短期目標が達成されたかをみる指標	<input type="checkbox"/> アンケートを通して、赤ちゃんの事が理解できたか、生まれたばかりの子どもは弱いものとして取り扱えるか <input type="checkbox"/> 妊娠中の母体を思いやる気持ちをもったか		
長期目標が達成されたかをみる指標			
従事者(職種)		予算・根拠・法令など	2,153 円 (紙おむつ代)
<p>まず対象が150人とありますが、誰なのか書いてあるとよりわかりやすいと思います。小学生とか中学生でしょうか。家庭科とありますので、中学生でしょうか。これは、ふれあい事業でしょうか。実際に、こどもたちは赤ちゃんに接するのかどうか、いまひとつわかりにくい表現になっている気がしました。短期目標がどちらもおおきいような気がします。もう少しその目標の一部だけでもよいので、小さくまとめてみてください。松浦</p>			

五所川原市		事業のテーマ	思春期教室 ～感じてみよう大切な命～	
対象者/対象者数	小学校6年生及び保護者	実施期間・回数	2回	
テーマの目的(短期目標)	<input type="checkbox"/> 思春期の特徴を正しく理解する <input type="checkbox"/> 自分も友達も大切な命であると理解する			
長期目標	生命の尊さ			
事業内容・方法			事業内容・方法を実施する際の障害	
(1回目)ふれあい体験学習 ・沐浴人形の体重測定 ・沐浴人形の抱っこ体験 ・妊娠シミュレーター使用による妊婦体験 ・保護者からの手紙(生まれたときの子どもへの思い) ・生命のはじまり (2回目)助産師による講演 ・二次性徴 ・出産の様子、児心音			協力校の選定および協力	
短期目標が達成されたかをみる指標		生まれてきてよかったと思う割合		
長期目標が達成されたかをみる指標		10代の出生率と人工妊娠中絶率		
従事者(職種)	保健師、助産師	予算・根拠・法令など	児童環境づくり・基盤整備事業	

短期目標とその指標が少し対応していない部分があるようです。指標が生まれてきてよかったと思う割合、というかなり込み入った指標になっていますが、目標には、思春期の特徴を正しく理解するとありますし、大切な命であると理解するとあります。大切な命であると理解するということが、生まれてきてよかったと思うことにつながっているとは思いますが、目標と指標は、この段階では小さくてもよいので、対応させていたほうがよいと思いました。保護者もふれあいに来ていただくのですか？松浦

五所川原市		事業のテーマ	思春期教室「感じてみよう大切な命～見る、聞く、触れることをを通して～」	
対象者/対象者数	小学4年生及び保護者	実施期間・回数	実施枚数×2回	
テーマの目的(短期目標)	対象となる児童が心身の変化に伴う諸現象を、正しく受け止めることができる。また生命の尊さ、他者への思いやりを実感する心を育む。			
長期目標	未婚妊婦、10代の人工妊娠中絶率の低下(望まない妊娠、出産の減少)			